



日明浄化センター - 昭和45年完成 -

(所在地) 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町96-3 Tel. (093) 581-5661  
(面積) 114,175㎡

## ● あらまし

日明浄化センターは、合流式として、昭和45年4月に運転を開始しました。現在の処理能力は263,000㎥/日で、小倉北区・戸畑区と小倉南区・八幡東区の一部の下水を活性汚泥法により処理し洞海湾湾口部に放流しています。

## ● 主要設備仕様

施設	設備	仕様・構造	数
場内ポンプ場	自動除塵機	(細目)目開25mm	8台
	沈砂池	184m <sup>3</sup>	8池
	汚水ポンプ	φ500×27m <sup>3</sup> /分×13m×M-90kW	2台
		φ700×54m <sup>3</sup> /分×13m×M-160kW	2台
φ1,000×143m <sup>3</sup> /分×13m×(E-434×M-420kW)		1台	
水処理施設	最初沈殿池	φ1,350×260m <sup>3</sup> /分×13m×M-800kW	3台
		(標準槽) 2,381m <sup>3</sup> (W16×L48×H3.1)	4池
		(二階槽) 4,759m <sup>3</sup> (W14.6×L(54.1+46.2)×H3.25)	4池
	反応タンク	(標準槽) 2,379m <sup>3</sup> (W7.3×L(54.1+46.2)×H3.25)	1池
		(標準槽) 5,061m <sup>3</sup> (W7.4×L76×H4.5×2水路)	4池
	主ブローワ	(深槽) 15,200m <sup>3</sup> (W10×L76×H10×2水路)	3池
		12,600m <sup>3</sup> /時×250kW	6台
	最終沈殿池	(標準槽) 2,970m <sup>3</sup> (W18×L50×H3.35)	4池
		(二階槽) 5,060m <sup>3</sup> (W16.4×L38.6×H3.35)	1池
		(W16.4×L49.8×H3.6)	
(二階槽) 3,730m <sup>3</sup> (W12.3×L38.6×H3.35)		1池	
消毒槽	(W12.3×L49.8×H3.6)		
	8,790m <sup>3</sup> (W18.6×L55.8×H3.44)	2池	
汚泥処理施設	消毒槽	1,690m <sup>3</sup> 2,529m <sup>3</sup>	1池 1池
	濃縮設備	(重力式) 1,300m <sup>3</sup>	2基
		(ベルト式) 100m <sup>3</sup> /時	2基
	消化槽	3,350m <sup>3</sup>	6槽
		8,450m <sup>3</sup>	2槽
	脱水機	(遠心式) 20m <sup>3</sup> /時 (遠心式) 30m <sup>3</sup> /時	1台 2台
	ガスタンク(乾式)	φ15.5×H16.8 2,000m <sup>3</sup>	2基
	汚泥貯留槽	φ8.6×H3.5 185m <sup>3</sup> φ10.8×H4.65 395m <sup>3</sup>	2基 2基
日明汚泥燃料化センター	燃料化方式 造粒乾燥方式(ジェイコンビ) 処理能力 70t/日 燃料化物生成量 20t/日	1基	
脱臭施設	土壌脱臭設備	41.5m <sup>3</sup> /分×7.5kW	2台
		67.8m <sup>3</sup> /分×7.5kW	1台
		89.6m <sup>3</sup> /分×5.5kW	1台
活性炭脱臭設備	400m <sup>3</sup> /分×15kW, 18.5kW	1台	
消化ガス発電機	25kW	6台	
沈砂洗浄設備	3m <sup>3</sup> /時	1基	

## ● ポンプ場概要

ポンプ場	分流/合流	汚水	雨水	1分毎の排水能力(立方メートル)		運転開始	滞水池/調節池(立方メートル)
				汚水	雨水		
浅野町	合流	○	○	79.5	820	昭和48年10月	
港町	合流	○	○	336	1,155	昭和46年4月	
大手町	合流	○	○	245.1	690	昭和45年4月	
神嶽	合流	○	○	84.5	1,309	昭和51年8月	4,600
城野	分流	○		133		昭和54年10月	
南小倉	分流	○		63.5		昭和48年4月	
戸畑	合流	○	○	187	1,866	平成18年6月	4,340



皇后崎浄化センター - 昭和38年完成 -

(所在地) 〒807-0813 北九州市八幡西区夕原町1-1 Tel. (093) 631-4635  
(面積) 145,323㎡

## ● あらまし

皇后崎浄化センターは、合流式(一部分流)として、昭和38年7月に運転を開始しました。現在の処理能力は177,000㎥/日で、八幡西区・八幡東区と若松区・戸畑区の一部の下水を活性汚泥法により処理し割子川及び洞海湾に放流しています。

## ● 主要設備仕様

施設	設備	仕様・構造	数
場内ポンプ場(第一)	自動除塵機	(汚水細目)目開25mm (雨水)目開50mm	2台 3台
	沈砂池	(汚水) 15m <sup>3</sup> (雨水) 144m <sup>3</sup>	2池 3池
	汚水ポンプ	φ200×7.4m <sup>3</sup> /分×10m×M-21kW	3台
		φ350×17m <sup>3</sup> /分×10m×M-48kW	4台
雨水ポンプ	φ800×72m <sup>3</sup> /分×3.2m×M-80kW	2台	
	φ1,200×195m <sup>3</sup> /分×3.2m×E-155kW	3台	
場内ポンプ場(第二)	自動除塵機	(汚水粗目)目開40mm (汚水細目)目開20mm (雨水)目開50mm	2台 2台 1台
	沈砂池	(汚水) 27m <sup>3</sup> (雨水) 80m <sup>3</sup>	2池 2池
	汚水ポンプ	φ500×33m <sup>3</sup> /分×20m×M-160kW	2台
		φ500×33m <sup>3</sup> /分×20m×M-200kW	1台
雨水ポンプ	φ800×80m <sup>3</sup> /分×12.6m×E-257kW	1台	
	φ800×80m <sup>3</sup> /分×12.6m×E-257kW, M-240kW	1台	
水処理施設(第一)	最初沈殿池	3,180m <sup>3</sup> (φ35×H3.8)	4池
	汚水ポンプ	φ500×35m <sup>3</sup> /分×6.7m×M-60kW	3台
	反応タンク	7,680m <sup>3</sup> (W6×L40×H4×8水路)	2池
	主ブローワ	6,000m <sup>3</sup> /時×170kW	2台
水処理施設(第二)	最終沈殿池	1,750m <sup>3</sup> (W13.2×L38×H3.5)	6池
	消毒槽	883m <sup>3</sup>	1池
	最初沈殿池	2,900m <sup>3</sup> (W14.5×L50×H4)	7池
	反応タンク	5,872m <sup>3</sup> (W7×L56×H5.1×3水路)	5池
汚泥処理施設	主ブローワ	6,000m <sup>3</sup> /時×180kW 12,000m <sup>3</sup> /時×350kW	1台 2台
	最終沈殿池	2,657m <sup>3</sup> (W14.5×L53.9×H3.4)	7池
	消毒槽	719m <sup>3</sup>	3池
	脱臭施設	濃縮設備	(重力式) 666m <sup>3</sup> (浮上式) 666m <sup>3</sup>
脱水機		(遠心式) 50m <sup>3</sup> /時	3台
脱臭施設	土壌脱臭設備	90m <sup>2</sup> ×H3 270m <sup>3</sup>	2槽
		10m <sup>3</sup> /分×0.75kW	1台
		18m <sup>3</sup> /分×2.2kW	1台
		71m <sup>3</sup> /分×3.7kW	1台
		50m <sup>3</sup> /分×3.7kW	1台
	活性炭脱臭設備	63m <sup>3</sup> /分×3.7kW	1台
		206m <sup>3</sup> /分×15kW	1台
		313m <sup>3</sup> /分×22kW	2台
		20m <sup>3</sup> /分×2.2kW	1台
		生物+活性炭脱臭設備	110m <sup>3</sup> /分×11kW 147m <sup>3</sup> /分×15kW 51m <sup>3</sup> /分×7.5kW 42m <sup>3</sup> /分×5.5kW
沈砂洗浄設備	3m <sup>3</sup> /時	1基	

## ● ポンプ場概要

ポンプ場	分流/合流	汚水	雨水	1分毎の排水能力(立方メートル)		運転開始	滞水池/調節池(立方メートル)
				汚水	雨水		
藤田	合流	○	○	248	1,410	昭和38年4月	2,800
則松	分流(一部合流)	○	○	102	1,509	昭和50年6月	
楠橋	分流	○	○	58.4	2,170	昭和58年7月	
折尾	分流(一部合流)	○	○	51.9	248.6	昭和50年6月	
本城	分流	○	○	70.9	240.2	昭和50年10月	
東中島	分流(一部合流)	○	○	48.3	1,368	昭和51年8月	
金山川	分流		○		604	平成13年3月	